

こんにちは!

# あかちゃん

1月から7月の間に大森山動物園で生まれた赤ちゃんをご紹介します。



### フンボルトペンギン

3月1日と4日にフンボルトペンギンが孵化しました。ベテランの両親は子育ても上手で、順調に育ちました。大人のペンギンたちと模様がまだ違うので、是非探してみてください。



### ニホンイヌワシ

3月14日に2年ぶりに孵化しました。飼育下では貴重な野生由来の西目(メス)の子どもです。子育ては上手な信濃(オス)とたつ子(メス)に託して孵化育雛し、5月23日に無事に巣立ちました。

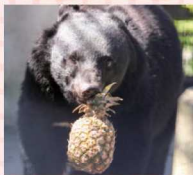
### カピバラ

昨年引き続き、今年も5月6日に5つ子で生まれました。残念ながら1頭は亡くなりましたが、他の4頭は元気に育っています。大人、昨年生まれの子ども、今年生まれの子どもとそれぞれ大きさの異なるカピバラを探してみてください。



この他、ライオンやタヌキ、ワタボウシタマリン等、久々の出産もありましたが、残念ながら生まれてすぐ亡くなってしまいました。繁殖の大変さについては、この後の飼育レポートで、当園初のプレーリードッグの繁殖と久々のミーアキャットの繁殖をご覧ください。

## 元気でね! 大森山を後にした動物たち



### ツキノワグマ「ルイ」

5年前に大森山で生まれたルイが6月12日に名古屋市東山動物園に嫁入りのため旅立ちました。最後の展示となる10日には「ルイを送る会」を催し、多くの方に来ていただきました。名古屋ではお母さんのルビーのように上手に赤ちゃんを育ててほしいものです。



### ワタボウシタマリン「レオ」

2014年に大森山で生まれたレオ。育児放棄のため、生まれた日から人工で育ちました。大森山では初めてのことで、担当者が一生懸命育てました。群入りを考え、コモンマーモセットと同居させたことで、たくましくなっていました。名古屋で希少種の繁殖に貢献してね。

この他、ジャンボウサギ、コモンマーモセット、アカカンガルー、カピバラ、アメリカビーバーが他の動物園等に旅立ちました。

## よろしくね!

仲間入りした動物たち

スバルパラライチョウとコツメカワウソは、いずれも大森山では初めての展示です。昨年発生した鳥インフルエンザからの再発を、那須どうぶつ王国をはじめ様々な園等に応援していただきました。詳しくは飼育レポートをご覧ください。



### スバルパラライチョウ



### アカカンガルー

6月7日に盛岡市動物公園とアカカンガルーのオス同士を交換し、メローネとの交換で来園したオスにサイチと名付けました。同居の際は緊張感がありましたが、他のオスの目を盗み、早速メスにちょっかいを出す余裕がありました。色白のナイスガイです。



### コツメカワウソ



### ブラッサグェン

7月14日に名古屋市東山動物園からブラッサグェン4頭がやって来ました。大森山動物園では初めての展示です。その美しい姿から世界で最も美しいサルの一つといわれています。とはいっても、日本では白い髭と赤い頭巾のような額の毛が水戸黄門のご隠居様に似ていて人気を集めそうです。



### ツキノワグマ

ルビーに若い旦那さんのコゴミがやってきました。北秋田市阿仁の「くまくま園」出身です。担当日く、少し不器用そうです。早く大森山の環境に慣れてルビーと仲良くなってね。

飼育動物数		2017年6月末現在
哺乳類	52種	382点
鳥類	27種	150点
爬虫類	13種	31点
両生類	2種	4点
魚類	3種	61点
無脊椎	1種	23点
合計	98種	651点

## 訃報 忘れないよ...



### ホンドギツネ「アズミ」

2003年に幼い状態で保護されました。まだ離乳していませんでした。動物病院で世話をしました。展示場デビューした後は、獣医師が近くを通るとうれしがる等とても人なつっこいギツネでした。



### ニホンコウノトリ「タイサ」

タイサは2003年に天王寺動物公園からやって来ました。2004年には上嘴を、2007年には下嘴を骨折しましたが、ハンディキャップをものともせず頑張りました。歯医者さんと一緒にタイサの嘴を作ってあげた実話はボランティアガイド「たいようの会」が紙芝居にしてくれています。

この他、ノドジロオマキザル、ミーアキャット、ワシミミズク、アカカンガルー等が死亡しています。